



整理番号	HT29014	分野	生物・化学	キーワード	植物培養
------	---------	----	-------	-------	------

研究機関名	弘前大学農学生命科学部				
プログラム名	タマネギはどうしてふくらむの？ ～フラスコの中でタマネギを育てよう！～				
先生(代表者)	高田 晃(たかだ のぼる) 農学生命科学部・准教授				
自己紹介	<p>タマネギやダイコンなどの野菜がなぜあのような形態をとるのか化学・生物両面から研究しています。</p> <p>みなさんとお会いできる日が今から楽しみです。</p> <p>HP: http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/lab/2/biochem/takada/home.html</p>				
開催日時・募集対象	平成29年 9月16日(土)	受講対象者	高校生	募集人数	20名
集合場所・時間	弘前大学農学生命科学部正面玄関		(集合時間)	11:00	
開催会場	弘前大学農学生命科学部 住所: 〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地 アクセスマップ: http://www.hirosaki-u.ac.jp/wp_access/				
内 容					
<p>カレーでおなじみのタマネギを知らない人はいないでしょう。でも、なぜタマネギは膨らむのか知っていますか？</p> <p>私たちはフラスコの中でタマネギを育てるテクニックを使って、タマネギが膨らむ仕組みを調べています。</p> <p>今回のプログラムでは植物培養実験の体験を通じて、最近の研究成果の一端を紹介するとともに、どうやって大学の研究は進んでいくの？、大学の研究室ってどんなところ？などの疑問にも答えていきたいと思います。</p>					
スケジュール				持 ち 物	
10:30～11:00 受付(弘前大学農学生命科学部正面玄関)				筆記用具	
11:00～11:45 開会式・科研費の説明・「タマネギが膨らむしくみ」の紹介					
11:45～12:00 実験室から食堂まで移動					
12:00～13:15 昼食(実施者・実施協力者とともに生協食堂で会食)				特 記 事 項	
13:15～14:45 実験(1):「フラスコの中でタマネギを育てよう」 無菌操作・タマネギの移植実験を体験します。				申込受付後、確認の E-mail (takada@hirosaki-u.ac.jp) をお送りしています。キャリアメール等では PC からのメールを一括拒否する設定となっていることが多いようです。受信できるように設定変更をお願いします。	
14:45～15:00 休憩					
15:00～16:30 実験(2):「バイオデータを解析しよう」 統計学を利用してバイオデータの解析を体験します。					
16:30～17:00 修了式(アンケート記入、未来博士号の授与)					
17:00 終了・解散					

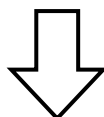
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	農学生命科学部／高田 晃(たかだ のぼる)
住所：	青森県弘前市文京町3番地
TEL 番号：	0172-39-3771
FAX 番号：	0172-39-3771
E-mail：	takada@hirosaki-u.ac.jp
申込締切日：	平成29年 9月 1日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生（代表者）の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
高田 晃	H24-H27	若手研究(B)	24780107	ジャスモン酸ミミックの開発と活用



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。